

愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業 実施結果報告書



派遣期間：2025 年 3 月 20 日（木）～26 日（水）

愛知県政策企画局国際課

報 告 書 目 次

1	愛知県高校生バンコク都派遣事業について	……	1
2	事業の様子	……	2
	事前講座（第1回、第2回）		
	事前説明会・知事表敬訪問		
	派遣中の様子		
	1日目 3月20日（木）		
	2日目 3月21日（金）		
	3日目 3月22日（土）		
	4日目 3月23日（日）		
	5日目 3月24日（月）		
	6日目 3月25日（火）		
	7日目 3月26日（水）		
3	参加者へのアンケート結果	……	14

1 愛知県高校生バンコク都派遣事業について

【事業概要及び目的】

愛知県とタイ・バンコク都が2012年に締結した「相互協力に関する覚書」に基づき、バンコク都へ高校生訪問団を派遣する事業です。本県の高校生が、多数の外国人が往来する国際色豊かなバンコク都において、現地の同世代との交流や視察を通じて国際感覚を育むことにより、将来を担うグローバル人材としての成長につなげることを目的としています。

本年度は2025年3月20日（木・祝）から26日（水）までの日程で実施し、「バンコクの文化と社会」をテーマに、県内高校生10名及び引率者3名で構成される訪問団がプログラムに参加しました。

【全体日程】

2025 年 3/20 (木・祝)	名古屋からバンコク都へ移動	
3/21 (金)	午前 昼 午後	サイアム博物館見学 歓迎昼食会 オークマ訪問
3/22 (土)	午前 午後	バンコク職業訓練学校訪問 ルンピニー・センターでの活動
3/23 (日)	午前 午後	チャトチャック公園でのアクティビティ チャトチャック市場見学
3/24 (月)	終日	ウィチュティット高校訪問
3/25 (火)	午前 午後	バンコク都知事表敬訪問 ワット・アルン見学 コーン・パフォーマンス見学
3/26 (水)	バンコク都から名古屋へ移動	

2 行程の詳細

【事前講座】

バンコク都を訪問する前に、参加者は、バンコク都の文化や歴史、社会への理解を深める事前講座を受講しました。

・第1回「タイの経済・社会概要」

講師：愛知県バンコク産業情報センター 塚田新也所長

日時：2024年12月20日（金）夜

形式：オンライン

概要：バンコク都で愛知県企業の海外展開支援等を行っている産業情報センターの塚田所長から、タイの経済や社会、タイでの駐在生活等について講義を受けました。

・第2回「タイの文化と言語」

講師：名城大学外国語学部 津村文彦教授

日時：2024年12月24日（火）午前

形式：対面

概要：タイ東北部を中心に東南アジアの文化を研究されている津村教授から、タイの歴史や文化的特徴、初歩的なタイ語について講義を受けました。



◆参加者の感想

- ✧ タイの現状について、インターネットで知らなかったことを知ることができた。
- ✧ タイでも日本や世界中と似た社会問題が起きていますが、起き方に違いがあることが面白いと思いました。例えば、PM2.5の発生条件です。
- ✧ 経済格差が一番の課題ということに驚いた。
- ✧ タイと日本が思っていたより色々なところで関わっていることを知った。
- ✧ 歴史について世界史の授業でもやっていたが、より詳しく知ることができ、面白く感じた。
- ✧ タイ語は点や丸を点けないということに驚いた。
- ✧ 新しい言語にふれあったことがとてもおもしろく、見たことない文字への興味が深まりました。歴史の情報に関しては、現地でどの様に生かしていけるかを考えました。

【事前説明会】

日時：2025 年 3 月 4 日（火）13:15～15:45

場所：愛知県自治センター

内容：現地でのプログラムの概要、参加にあたっての注意点についての説明、
高校生による事前レポートの発表

【知事表敬訪問】

日時：2025 年 3 月 4 日（火）16:10～16:30

場所：愛知県公館

内容：自己紹介・抱負、知事挨拶、記念撮影



【1日目 3月20日（木・祝）】

◇出発

中部国際空港から、直行便でスワンナプーム国際空港へ向かいました。大きなトラブルなくバンコク都に到着し、順調なスタートを切ることができました。



【2日目 3月21日（金）】

◇サイアム博物館見学

タイ人とタイの歴史について学べる博物館を見学し、実際のモノを見ながら、タイの文化について学びました。



◇歓迎昼食会

スントン副事務次官等を始めとしたバンコク都政府の関係者と昼食を取りながら、タイの文化や日泰両国の類似点・相違点について懇談しました。この昼食会で、副事務次官から提案をいただき、22日（土）早朝にバンコク都が主催するマラソン大会に参加することになりました。



◇オークマ訪問

愛知県に本社があり、バンコク都に営業所を置く、工作機械大手のオークマを訪問しました。同社現地法人（オークマ・テクノ・タイランド）の近藤社長を始めとした社員の方からショールームの見学も交えて同社の経済活動について説明いただいた後、海外での仕事で大切なことや、やりがい等についてお話を伺いました。最後に、団長及び高校生代表から御礼を述べました。



【3日目 3月22日(土)】

◇バンコク都主催マラソン大会参加

バンコク都が主催するマラソン大会に、特別ゲストとして参加しました。この大会は、バンコク都民の健康増進を図ることを目的として定期的に行われており、チャチャート都知事も大会参加者と共に走るのが恒例になっています。マラソン開始前に、都知事から大会参加者へ訪問団をご紹介いただいた後、訪問団は3kmのコースを走りました。まだ太陽も昇っていない時間帯からのスタートでしたが、参加者は爽やかな汗を流し、清々しい朝を過ごすことができました。



◇バンコク職業訓練学校訪問

ホテルスタッフやシェフ等として働くための訓練が受けられる学校を訪問し、同校シェフの指導の下、三色プアローイ作りを体験しました。プアローイとは、甘いココナツミルクの中にタロイモ等で作られた白玉を浮かべた、タイの伝統的なスイーツです。高校生は、思い思いに白玉の形を整えながら、タイ料理の構成要素の1つであるスイーツ作りを体験しました。



◇ルンピニー・センターでの活動

ジムやプールでの運動や中国語講座等の講座が受講できる公共施設で、タイの伝統的なダンスやムエタイ、手芸を体験しました。どれも初めて体験するものばかりでしたが、高校生はプロの指導を受けながら、タイの伝統を本格的に体験しました。



【4日目 3月23日（日）】

◇チャトチャック公園のアクティビティ

都内の緑豊かな公園においてサイクリングを体験しながら、バンコク都民の休日の過ごし方を学びました。



◇チャトチャック市場見学

バンコク都最大の公設市場の商品や店でのやりとりを通して、タイの生活や社会に触れました。

【5日目 3月24日（月）】

◇ウィチュティット高校訪問

盛大な歓迎セレモニーに参加した後、同校生徒と共に、タイの文化体験を行いました。

スケジュール

- ・歓迎セレモニー参加
- ・タイの伝統的な踊り体験
- ・タイの伝統的なお菓子作り体験
- ・パンチュ（ミニチュア）作り体験
- ・ムエタイ体験
- ・訪問団による日本文化の紹介（ソーラン節と三々七拍子）
- ・訪問団によるアジア・アジアパラ競技大会（2026年に名古屋で開催）の

PR

- ・訪問団団長及び高校生代表からの御礼の挨拶





【6日目 3月25日（火）】

◇バンコク都知事表敬訪問

バンコク都庁にチャチャート都知事を表敬訪問しました。都知事からは、歓迎の言葉の後、今回で6回目となる愛知県高校生訪問団の受入れについて、「今後も交流を続けていきたい」という言葉がありました。その後、団長が訪問団を代表して挨拶し、都を挙げての温かい歓迎に感謝を述べました。更に、高校生は滞在中に感じた疑問を一人ずつ知事に質問しました。知事からは、それに対し、丁寧な回答をいただきました。



◇ワット・アルン見学

日本語で「暁の寺」の名を持つ仏教寺院を見学しました。得度を行う建物で同寺院の僧侶から寺の歴史について解説を受けた後、陶磁器の装飾が圧巻の大仏塔等の見学を通して、タイの仏教を学びました。



◇コーン・パフォーマンス見学

きらびやかな衣装と仮面（コーン）が特徴的なタイの古典舞踊劇を鑑賞しました。舞台上部に設置された電光板には、劇の内容について英語の解説が流されており、外国人観光客の多いバンコク都らしい、伝統を海外へ発信するための積極的な取組を体験することができました。



【7日目 3月26日(水)】

◇帰国

皆で無事に帰国しました。



3 参加者へのアンケート結果

1. 今回のバンコク都派遣に参加しようと思った理由（複数選択可）

国際交流に興味があるから	9名
英語力を向上させるため	6名
タイに興味があるから	6名
家族や学校の先生に勧められたから	2名

2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところ（3つ選択）

1位	ウィチュティット高校訪問	10名／10名
2位	ルンピニー・ユースセンターでの文化体験	4名／10名
2位	チャトチャック市場見学	4名／10名
4位	バンコク都知事表敬訪問	3名／10名
5位	ワット・プラケオ見学	2名／10名
5位	サイアム・ミュージアム見学	2名／10名

3. 今後実施する際に入れると良いと思うプログラム（自由回答）

1位	高校生との交流	5名／9名
2位	言語学習	2名／9名
3位	経済についての学習、タイダンス、お菓子作り、日本の文化を教える	各1名／9名

4. 参加者からの感想

〈ウィチュティット高校訪問〉

・ムエタイ体験が一番印象に残りました。また、例え違う国、違う文化を持っていても、1つのことで一気に仲が深まったことにやりがいを感じました。

・歓迎が想像を遥かに超えてきてそれだけで感動した。バディの子がずっと付き添ってくれていて安心したし、現地の子とたくさんのお話ができとても良い経験になった。

・着いた瞬間から大歓迎してくれた。人々が本当にフレンドリーですぐに仲良くなれた。バディとの交流が本当に楽しく、話が一生つきなかつた。記念品交換もすごく喜んでくれたり、素敵な物を頂いて宝物になった。みんなでやったパフォーマンスも、クオリティはあまり良くなかつたかもしれなかつたけれど、練習して

いる時間も楽しかったし喜んでもらえて良かった。楽しすぎて時間があっという間にすぎて、もう終わるの！？って思ったし別れる時がすごく悲しかった。終わったあとも、連絡を取り合っていて出会えてよかったと心から思っている。

- ・きちんとコミュニケーションが取れるか心配でしたが、バディーの子が積極的に話しかけてくれたり、優しく接してくれたりしたおかげで、とても充実した 1 日になりました。また、ムエタイやタイダンス、お菓子作りを現地の学生とできて、一生忘れない思い出になりました。

- ・高校側が歓迎してくれて非常に楽しかった

- ・ウィチュティット高校のバディーの方がとても優しく気遣ってくださったり、いろいろなタイの体験をすることができてよりタイの良さを知りました。特にタイのダンスをバディーの子と一緒に踊ることができ、とても楽しかったです。また英語を用いてたくさんの会話をするのができ、語学力も向上できた良い経験となりました。

- ・他国の同世代の子と英語で会話することが初めてだったため、とても緊張したけれど自分の実力を知る良い機会となったし、タイの人々の英語力の高さを実感できて良かったと思った。

- ・バディーの高校生の方々がとても優しく接してくれて、慣れない英語も一生懸命聞いて貰って良い交流になった。文化体験も貴重な経験になった。

- ・活動自体は満足したものの、時間が短いと思いました。もう少し長くしてもいいかと思いました。でも、とても楽しかったです！！

- ・短時間で仲良くなったり、コミュニケーションが取れたりできるか不安だったが、バディーの子が仲良く積極的に話しかけてくれてしっかり英語で会話できた

〈全体〉

- ・今回の派遣事業では普通の観光では体験できない貴重なことを沢山経験できたと思います。例えば、ウィチュティット高校での活動やルンピニー・ユースセンターでのムエタイ体験などです。生活で日本とは違う不便さも体験でき、とても充実した事業だったと思います。

- ・タイの方々がみんなとても優しい人ばかりで、たくさん関わられて嬉しかった。

2 日目と 6 日目にタイの高校生の子たちがサポートで来てくれたのがとても嬉しかった。博物館や買い物でたくさんのことを教えてもらった。タイの魅力を存分に味わえて、一生の思い出になった。

・人生の中で最も濃い 1 週間でした。本当にどの瞬間も宝物です。この機会をくださって本当にありがとうございました。海外に行くなんて大人になってからしかできないと思っていたけれど、高校生だからこそその経験を沢山させて頂き、自分がとても良い方向に変わったと思います。大歓迎をしてくれたタイの人々、サポートしてくれた大人、そして高校生みんなありがとう！初めは緊張もしていたけれど日に日にみんなの事を知って、他校だからこそ色々の話もできて、お別れの時は涙が出てきました。一緒に色々なこと乗り越えて、楽しむことが出来て良かったです。この派遣に参加できたことを誇りに思っています。これから最大限に活かせるように頑張ります。コップンカー！

・今回が初めての海外でしたが、タイのたくさんの文化を体験し、日本とは違う雰囲気を実感できて、新しい視点を持つことができました。全てがぎゅっと詰まった濃い 1 週間でした。この派遣に参加できてとても良かったです！

・バンコクやタイの社会、文化についてたくさんのことを学べた。また、基本的に会話は英語だったため自分のリスニングやスピーキング能力が上がったと体感できた。個人的には得るものしか無い派遣だったので来年後輩にぜひお勧めしたいと思っている。また、自分の海外で暮らしたい、という考えがますます強くなるものだった。企画をしてくれた方々、引率をしてくれた方々に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

・今回の派遣ではタイの文化や歴史を楽しみながら、学ぶことができました。また、英語でのコミュニケーションを積極的にとり、現地の方との会話を楽しむことができました。タイの方が言っていたように、英語のコミュニケーションを取ることが難しく、不安であってもとにかく話してみることが大切だと知ったのでこれからどんどん使っていきたいと思います。そのほかにもタイの料理やダンスを教えてもらったり優しく接していただき、タイの方々のことが大好きになりました。また、高校でも、たくさん会話やいろんな体験をさせていただき心に残る思い出を作ることができました。県庁職員さんや先生、派遣のみんな、派遣に参加させてもらった家族に感謝の気持ちでいっぱいです。これからの学校生活で、タイの体験談をいろんな人に話して、たくさんタイの良さを広めていきたいと思っています。

・すべてが初めてのことであったため、不安もあったけれど、積極性を持って会話を
する、行動をすることの大切さを改めて感じた旅でした。楽しさの中に学びも
あり、とても充実した時間を過ごすことができたと思っています。そして、この
貴重な体験をまずは学校の人々に還元し、広めていきたいと考えています。

・初めての海外で不安もあったけれど、引率の方々も親切でとても充実した1週
間になった。現地の高校生にタイ語を教えて貰ったことが楽しかったので、語学
に興味湧いた。

・新しいことが多く不安が多かったが、県職員さんなどが支えていただいたおかげ
でとても安心して1週間過ごすことができました。また、知らなかったことや
はじめてみることで、体験したことが多く、時分の世界を見る視野が広がったと感
じました。派遣先がバンコクであったからこそ、メンバーが今回のメンバーであっ
たからこそいろんなことが学べたと思いました。とても貴重な経験でした。

・人とコミュニケーションをしたり歴史や国際問題を学べるプログラムが多く大
変濃く学びのある日々を過ごせました。学んだことをしっかりとこれからに活か
していきたいと思いました。